

2018年のインターンはどうでしたか？

HOW WAS IT?

2年前に金沢市役所インターンシップに参加した今年の新規採用職員にお聞きします。

金沢市役所のインターンは2年前より、業務説明と施設見学、若手職員との座談などを通して、業務の課題を見出し、解決策を提案・発表するといった能動的な内容となりました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、残念ではありますが、規模縮小、期間短縮での実施となります。しかしながら、多くの方に金沢市役所のインターンの魅力を届けるために、大学3年生の時にインターンに参加し、今年度新しく金沢市役所の職員として採用された6名（事務職4名、土木職1名、建築職1名）に、当時のこととお話ししてもらいました。

考えたアイデアを「新しいね」と認めてくれた

（文化スポーツ局に参加 事務職）

スポーツイベントの参加者への宿泊施設として、金沢町家を活用してもらうことを提案し、幹部職員に発表したところ、「新しい組み合わせだね」といっていただいたことを2年前のことですが、印象的だったので鮮明に覚えています。

他の官公庁などのインターンにも参加しましたが、1日間のものや、業務説明と施設見学が中心で感想を提出して終わりといったものがありましたが、金沢市は5日間で内容が充実していたように思います。



若手職員が率直に疑問に答えてくれた

（福祉局に参加 事務職）

県庁と市役所とどちらに参加するか迷っていましたが、より市民に近い仕事ができる市役所の職員の話聞いてみたいと思い、市役所のインターンに参加しました。

もともと金沢市民として家族の関係で福祉局にはお世話になっていましたので、窓口としての接点はありましたが、インターンに参加してみて、実際の意思決定や業務の流れを知ることができました。

一番印象的だったことは、職員が自分の質問に正直に答えてくれたことです。残業や休暇制度などについても丁寧に答えてくれました。



Talk About 2018

打合せに参加し「仕事してる感」があった

(企業局に参加 土木職)

グループワークをとおして、ほかの大学の人との意見交換ができたことや、最終日に他の部局の参加者の発表を聞いて、関心が無かった分野の市の業務についても知ることができました。

職場の課長や係長、担当職員の声を直接聞いて、職場の様子がよく分かっただけでなく、一緒に参加した学生の視点についても言葉として聞いたことが良かったと思います。

企業局では、水道管の修繕が必要な現場に向かい、現地で関係業者の現場監督の方と市の職員（技師）といったプロフェッショナル同士の会話を目の当たりにして、学校の授業であるような職場見学でなく、実際に業務を行っているような体験ができました。

※今年企業局の受け入れはありません。

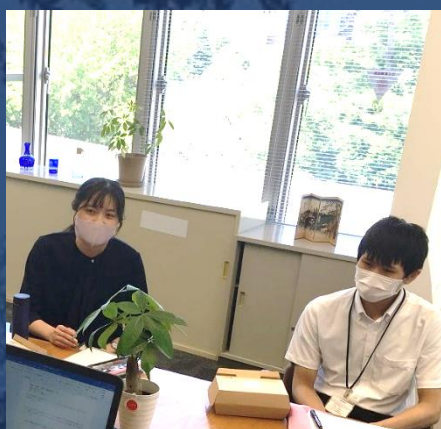
幹部職員の市政への考えを聞いた

(都市政策局に参加 事務職)

広報広聴課で「若者への市政発信」について、幹部職員とのアイデアマラソン（発想を言い合う）で、金沢市が向かっている方向性などを直接聞くことができました。

また、新聞社との会議を見学したことや、SNSへの投稿記事を作成したことが印象的でした。

インターン参加中に新聞取材をうけ、そのことが新聞記事になったことを後から教えてもらい、市役所の広報の仕事を実感することができました。



建設予定現場を見てスケールの大きさを感じた

(土木局に参加 土木職)

県と市の関係では、市は規模が小さいのではないかと感じていたけれど、金沢市が担当している海側幹線道路の建設予定地や、雨水地下貯留施設を見学し、スケールの大きな仕事も行っていることを実感しました。

また、新しい施設をつくるだけでなく老朽化するインフラの維持管理が課題となっていて、対応の優先度が高まってきていることを知りました。

その他にも移動中の車の中で仕事のこと以外にもいろいろと質問に答えてくれたので職員の人を身近に感じることができました。



Talk About 2018

恩師との再会がモチベーションに



(教育委員会に参加 事務職)

学校の先生だった方が数年間、教育委員会に配属され行政の業務を行うことがあるそうです。ですので、市役所職員になると、もしかしたら担任の先生や部活の顧問だった方が同僚になることもあるということです。

インターンで中学校の時に世話になった先生に再会し、励ましをいただいたことが試験勉強のモチベーションになりました。

ところで、市役所の雰囲気が変わりましたか？

今年5月から第2本庁舎の供用が開始されました

最後は、人事課担当よりお答えします。

広坂の本庁舎が手狭となったことから、第二本庁舎を建設することとなりました。この建物には、教育委員会、農林水産局、環境局などの執務スペースが入っており、無線LANや、場所にとらわれない（自席を定めない）働き方を実現するフリーアドレスをいち早く実現しています。

これらの他にも金沢市役所では、7月から在宅での勤務が可能なテレワーク制度や、育児や介護を行う職員のための時差出勤制度の試行も始まったほか、書類を電子化するペーパーレスや業務改善にも取り組み、全庁的な働き方改革を推進しているところです。

今年の金沢市役所インターンに参加する学生等のみなさんにも是非、変わっていく新しい金沢市役所の職場を見ていただきたいと思います。

